

平成30年度 第1回西淀川区教育行政連絡会（中学校）議事要旨

日 時：平成30年4月24日（火）10:00～12:00

場 所：西淀川区役所 5階 区長応接室

出席者：（中学校）淀中学校長・西淀中学校長・佃中学校長・歌島中学校
（区役所）塩屋区長・山本副区長・横内学校教育支援担当課長・
向井学校教育支援担当係長・若松係員

1 平成30年度プログラミング教育推進事業について

○別添資料のとおり説明

○質問など

（中学校）

プログラミング教育の先にある目指す教育とはなにか。←（区役所）プログラムを学ぶというよりは、論理的思考力や問題解決能力を育てることであると考えている。新しい分野の導入ということもあり、教職員の不安・負担軽減や児童生徒がプログラミングに触れる機会を多く提供し、支援していきたい。

2 英語教育の充実（国際理解教育の推進）事業について

○区役所からの報告

・別添資料のとおり説明

○質問など

（中学校）

- ・バスは3台を想定しているということであるが、1台は2つの中学校をまわるなどして全中学校区を回ってもらった方がよい。←（区役所）応募状況により考えたい。
- ・募集のかけ方によってはかなりの参加者が集まるのではないか。中学校1・2年生にするなど、対象学年を絞らないと抽選が大変ではないか？←（区役所）初めての開催ということもあり、今年度は応募状況が読めない中での募集となるが、今年度の応募が多く、来年度も予算が続くようであれば考えたい。

3 校長経営戦略支援予算加算配付選定にかかる意見について

○区役所からの報告

・別添資料のとおり説明

・各校で加算配付申請の際に参考にしていきたい。

○質問など

（中学校）

- ・次長が何を重要視しているのかによって加算の要求が通るのかどうかが決まってくると思われる。区担当教育次長枠として、学校単独では達成できない大きな目標を立ててもらい、それに学校として従い加算配付を要求しているという形をとって、英検や漢検を

加算配付で行うことができれば、児童生徒に直接還元する形で予算を使うことができるのではないかと。

4 その他

- ・に～よん個別復習塾は保護者にも好評である。←（区役所）この事業については、希望者が多ければ、場所を拡大することによって事業を拡大することは可能である。各学校で多目的室などを提供いただけるようであれば、来年度事業の拡大も考えられるので、お声がけいただきたい。
- ・学校ボランティアについて、区広報紙に載せてもらって、実際ボランティアしていただける方が見つかった。有効な手段であると考えている。ボランティアをしていただくにあたっての申込書や保険の掛け方など、他校ではどのようにしているのか。区で様式等を定めてもらったら他校も使えて便利ではないか。←（区役所）学びサポーターなど、他制度での保険等も調べてまた連絡する。
- ・要保護児童対策協議会を各小学校で行っているが、対象児童の兄弟児が中学校にいる場合などもある。中学校部会を行うことはできないか。←（区役所）小学校部会の情報共有ができないかどうか担当部署に伝える。
- ・不登校の生徒の通所施設のサテライトがもと歌島橋バスターミナルにあると聞いている。大阪市こども相談センターの管轄になると聞いているが、大阪市こども相談センターと相談がしたくてもなかなか電話が繋がらない。西淀川区を担当とする担当者が区に巡回に来ていると聞いている。担当者と直接連絡をとることはできないか。←（区役所）担当部署に伝える。
- ・外国にルーツをもつ子ども達が多くなり、対応に苦慮している。日本語教室を教育委員会の予算で行うのは予算的に厳しいと言われた。現在はボランティアで退職された英語教師の方が識字教室をやってくれているが、そういう枠組みを区で支援してもらうことはできないか。平野区などではそのような取り組みがあると聞いている。←（区役所）平野区での取り組みを調べてみたい。